

## 吉野石膏千葉第三工場の稼動について

発表日：2008年2月14日

「安全で快適な住空間を創る」ため、品質の高い製品をさらに安定的に供給することを目指し、千葉第三工場が2007年12月に完成致しました。この工場は本年の1月より稼動を開始しております。

### 千葉第三工場の概要

所在地	千葉県袖ヶ浦市南袖46番
着工	2006年12月
竣工	2007年12月
敷地面積	14万4000㎡
製造品目	各種せっこうボード(タイガーボードなど)
生産能力	年産6000万㎡



工場外観

### 千葉第三工場の特徴

#### 世界最速クラスの生産スピードと高品質な製品を造る技術

ボードの成形ラインのスピードを引き上げ、さらに、通常ボードから強化ボードなど付加価値商品への生産切り替えもコンピュータで自動制御できるようにした結果、生産スピードは世界でも最速級になっております。

#### 原料供給から製造、出荷までの一貫生産システムの導入によるコストダウン

プライベート埠頭を擁し、船舶から輸入されたせっこう原料などを直に運び入れることができ、原料の入手から製造、出荷までの一貫生産が可能です。また、いままで、別々の設備でおこなっていた石膏の粉碎と焼成を1箇所で行えるようにするため、国内初の設備を導入し、生産工程の短縮と省力化を実現。

#### 安全と環境を配慮した設計および最新鋭設備

安全な配送を行うため、一般用の入口とは別にトラック専用の入口を設けました。工場内の機械は、すべて遠隔操作を可能としており、人の通路は機械と接触しない中2階となっています。

また、環境面では燃料にSO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)を含まないLNG(液化天然ガス)を使用し、石膏の焼成と乾燥に使用するバーナーは超低NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)バーナーとしています。



製造ライン



製品出荷